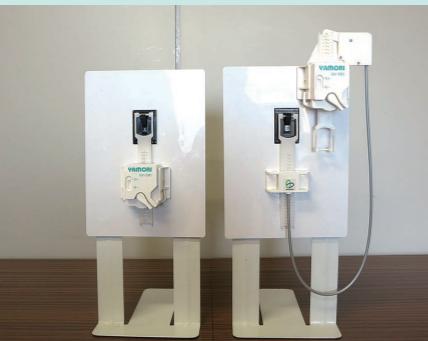


安心安全な暮らしを! 火災予防対策について



● 公明党市議団として推進 感震ブレーカーの普及について

感震ブレーカーの設置方策としては、自立による設置と併せ、町内会単位など地域が一体となって取り組むことで、エリアによる延焼火災を防ぐことが、より効果的です。

このことから、防火フェアなどのイベント開催時や防火・防災訓練時など、様々な機会を捉えリーフレットの配布やデモ機の展示等により引き続き普及啓発に努めるとともに、密集住宅市街地を重点とした補助制度の創設や現物支給について検討されています。

● 連動型住宅用火災警報器のモデル事業

近年、大規模・延焼火災の発生防止が求められています。平成29年度には、飲食店および隣接する住宅2棟に連動型住宅用火災警報器が設置されました。

本モデル事業を検証し普及啓発に努めてまいります。



市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

性別・年齢・お住まいについて（該当するものに✓をおつけください。）

- ▶性別 男性 女性
▶お住い 中央区 花見川区 稲毛区 若葉区 緑区 美浜区
▶年齢 20歳未満 20~39歳 40~59歳 60~74歳 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立てて参ります。 FAX.043-245-5584

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <http://gate.ruru.ne.jp/chibakomei/>

公明党千葉市議会議員団 市議会だより

発行日/平成30年1月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1



本年も皆様のご期待に、全力でお応えしてまいります!

稻毛区
桜井秀夫

中央区
森山和博

美浜区
伊藤康平

花見川区
村尾伊佐夫

緑区
近藤千鶴子

花見川区
川岸俊洋

中央区
酒井伸二

若葉区
青山雅紀

新年度予算編成に対する 重点要望

- 1 財政健全化に向けた取り組みの強化
- 2 行財政改革への取り組みの強化
- 3 防災対策の強化
- 4 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた諸施策の拡充・強化
- 5 地域共生社会構築の推進
- 6 安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充
- 7 地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組み強化
- 8 健康づくり施策の推進
- 9 生涯現役応援センター増設など、生涯現役社会に向けた取り組みの強化
- 10 障がい者・児支援施策の推進
- 11 子ども・子育て支援事業の推進
- 12 児童生徒の安全対策および青少年健全育成施策の強化・拡充
- 13 低酸素社会実現への積極的な取り組み
- 14 事業継承の支援など中小・小規模事業者に対する支援施策の拡充・強化
- 15 企業の参入促進など地域農業活性化に向けた施策の拡充・強化
- 16 都市の活性化に向けた取り組みの促進
- 17 救急車の適正利用に関する取り組みの強化
- 18 両市立病院経営の改善など改革の推進強化

新庁舎整備について

新庁舎整備の基本設計が完了しました!



「政令指定都市の本庁舎にふさわしい機能を備えた庁舎」、「まち・人・緑をつなぐシティ・ホール」を設計コンセプトに、リニューアルが進むJR千葉駅周辺と臨海エリアの中間に位置する立地を活かし、沿道型の建物配置とともに、表玄関となる低層棟には、明るく開放的なロビー空間や市議会、市民センター、食堂・カフェ、イベントスペースなど、市民の皆様の利用が多い機能を整備する予定です。

公明党市議団 第4回定例会 代表質問から

歩きたくなるまちづくりを! 千葉駅周辺のエリア毎のまちづくり

千葉都心においては、JR千葉駅周辺活性化グランドデザインが策定されています。歩きたくなるまちづくりについては、どのように展開されていくのか。

「広幅員の駅前大通りのある東エリアでは、多様な人が集うことから、商業、健康、歴史、文化などの機能を持たせ、また、安心な生活の支援を掲げ、近年、再開発ビル・ウエストリオが完成した西エリアでは、商業の他、医療、健康、福祉などの機能を導入していく。」

そして、公園や文化施設の活用を掲げる北エリアでは、千葉公園の再整備に関連した公共施設(体育館、競輪場など)の再編を進めていく」旨の方向性が市長より示されました。



また、あわせて市長から「先行整備プログラムとして位置付けられている、西銀座周辺の再開発では、歩行者中心の空間を強化することから、平成29年度は、歩行者等の交通を阻害している配送車両の影響や改善策などを確認・検証するため、配送車両が自由に利用できる共同荷捌き場を設置する社会実験を行い、効果検証を行うこと。一方、中央公園-通町公園の連結強化では、通町公園の再整備計画の検討を進めており、中央公園とアクセスを充実させ、来街者が安心して歩けるような空間を創出していく」旨の答弁がありました。

■97万市民の健康を守るために！ 受動喫煙防止条例を制定へ

2020年東京五輪・パラリンピックの競技会場都市として、多くの外国人観光客の来日が予想される中、非喫煙者がタバコの煙を吸う「受動喫煙」を防ぐための世界基準の対策が必要です。



千葉市の受動喫煙防止対策について、受動喫煙による健康影響を踏まえた取り組みをすべきと要望し質問しました。市長より「本市を訪れる海外を含む多くの観光客の皆様を気持ちよく『おもてなし』するために、さらには97万市民をタバコの健康被害から守るためにも、実効性の伴った受動喫煙防止条例の制定が必要と考える。また、禁煙治療費に対する助成制度など、禁煙を望む方が確実に禁煙できるよう支援する方策を検討する」旨の答弁がありました。

■ICTを活用した新技術の導入を！ 有害鳥獣対策について

地球温暖化による生息環境の変化や高齢化による狩猟者数の減少などにより、有害鳥獣の数は増加しております。

全国における農作物被害は200億円程度で推移し、有害鳥獣被害により農業従事者が事業を継続する上において、深刻な事態を招く大きな社会問題となっています。これまでの取り組みの評価と課題などを質問しました。

「平成25年度に立ち上げた千葉市鳥獣被害防止対策協議会における捕獲と侵入防止などによる取り組みにより一定の効果を得たが、未だに被害が発生していることから、今後は地域と協議会が一体となった、専門的な知識と経験を有する農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーを活用し進め、加えて、箱わなや電気柵の実証展示や、ICTを活用した遠隔検討し、引き続き対策強化に努める」と副市長より答弁がありました。



【子どもたちや保護者の不安解消を!】学校のトイレについて

学校トイレの改修について、公明党市議団では、これまで早急な取り組みを要望してまいりました。ある民間企業の調査によれば、学校で大便をしない小学生は3割にのぼるとされ、健康面でも気にかかるところです。一方で、学校は大規模災害には避難所となるなど、老若男女を問わず多くの住民が利用する施設です。



そのようなことから、現在における取り組み状況と完了の見込み、今後の改修目標について質問しました。「便器の洋式化については、学校施設保全計画に基づき、1フロアに男女1基ずつ和便器を残し全便器数の約80%を目標として、平成38年度の完了をめざし整備に取り組んでいる。また、今後の整備目標については、次の保全計画を策定する中で、中長期的な改修時期の明示を検討していく」と教育長より答弁がありました。

